17~18世紀に火付国で起きた乱世

# 戦

## 栄平（えいへい）の乱

戦国時代に入ったきっかけとなった戦い。蘇和伽（そわか）幕府に不満を持った毘素陀周作ら率いる倒幕派と幕府軍の大規模な戦争である。この戦いで倒幕派が勝利し蘇和伽幕府滅亡。その後歯姫国（はひめのくに）に幕府を開き、歯姫幕府ができる。

## 清水川（しみずがわ）の戦い

## 下平（しもひら）城の戦い

## 亀山（かめやま）城の乱

## 大神（おおしな）寺の変

## 蓮松（はずまつ）の合戦

蓮松の合戦は木原と石破の決戦舞台。途中で木原側のスパイである倶胝原が石破を裏切り木原側が勝つ。石破は武器を奪われた後、石破に仕えた全ての部下に「戦国は勝者こそ正義、正義の元につけ」と言い残し自害(これにより那由多達は木原側へ)。その心意気に感動した木原は亡き石破の愛刀 雲木蘭（うんぼくらん）を手にし、前線に立つきっかけとなった。また、倶胝原は石破の人間味に衝撃を受け思わず逃走したが、石破が果てたのを聞いた葵宇徳に切られ果てる。

## 幽玄（ゆうげん）の乱

## 紫煌（しこう）の乱

## 双竜（そうりゅう）の乱

## 徒丘佐間（つれおかさま）の乱

## 光文（こうぶん）の乱

## 歯姫（はひめ）の陣

## 破突（はとつ）の陣

# 武将

## 呉谷　道真（くれやみちざね）

戦国一の暴君。敵勢力に対しては徹底的に潰し、残虐行為も平気で行う一方で、強固な守りを持つ下平城の戦いでは無闇に攻めることはせず、兵糧攻めで両軍の犠牲者を出さず勝利し吉田右京を家臣にするなど、軍略を立てることも得意とする。

## 吉田　右京（よしだうきょう）

下平城の戦いで呉谷道真に敗北しそれ以降家臣として仕える。

## 平沢　拳（ひらさわけん）

徒丘佐間の乱にて赤城信正と戦う

## 長家　卓（ながいえすぐる）

## 洛叉　剛（らくしゃたけし）

## 倶胝原　斐蘭（くていはらびらん）

木原勘介が石破木蓮軍に送り込んだスパイ。蓮松の合戦で勝利に貢献した。

## 那由他　宗（なゆたそう）

戦というより軍師がメイン。石破の家臣。

## 最勝　秀樹（さいしょうひでき）

## 御陵院　一茶（ごりょういんいっさ）

最勝秀樹と御陵院一茶は文学的な意味で交流が広い。

## 界分　平蔵（かいぶんへいぞう）

## 松前　吉宗（まつまえよしむね）

松前吉宗は界分平蔵の相棒みたいな感じで2人のコンビネーションと少数ながら統制の取れた軍は清水川の戦いで奇襲に来た白石軍を退けている。

## 木原　勘介（きはらかんすけ）

石破木蓮と敵対している。ワナ作りの天才。

## 宮内　才蔵（みやないさいぞう）

## 毘素陀　周作（びすだしゅうさく）

## 葵　宇徳（あおいうとく）

石破の弟子。

## 石破　木蓮（いしばもくれん）

木原勘介と敵対している。

## 赤城　信正（あかぎのぶまさ）

徒丘佐間の乱にて平沢拳との死闘の末で片眼を失っている。そこから強くなっていき徒丘佐間の鬼神として恐れられている。

## 白石　凪綱（しらいしなぎつな）